

## 「親戚は全世界に満ちわたる」

文学研究科博士課程前期中国語学中国文学専攻1学年 張 健

国際友好都市の中の  
広島大学

広島大学の外国人留学生は既に五百人を越えたそうである。多くの日本人はこれを聞いて驚いてやまないが、私はまだ少ないと思う。日本に於て広島市がその他の都市と異なるのは、ここが既に万人の注目する「国際友好都市」となっていることである。この都市の中にある広島大学が、日本と諸外国との国際友好、技術交流、また日本の諸外国に対する経済援助などの角度からみて、外国人留学生を受け入れるからには、可能な限り大勢を受け入れるのがよいと思う。こうして国際友好都市の中の大学として、その名に恥じない実質的な内容を具えると同時に、各国の留学生がもたらす異文化・異風俗等の、日本の発展に有益なものを間接的に吸収できるようにするのがよいと思う。

## 広島大学の国際化への貢献

外国から生産資源を輸入し、製品を造って外国へ輸出するのは、経済大国日本の経済小国に対する一大貢献と言えよう。とすれば広島大学が外国人留学生を受け入れたり、各方面の人材を育成することも各国に対する貢献に属しよう。

現在、広島大学の外国人留学生（公費・私費ともに）はおおむね授業料免除を受けたり、様々な奨学金を受けているので、安心して各自の学業に従事することができる。これらは確かに広島大学が日本の国際化のために行う具体的な措置の一つであって、当然経済大國の貢献の一つにもなると思う。

広島大学が既にこれまで受け入れた相当数の留学生は、帰国後各分野で活躍しているが、中国だけを例にとっても、遼寧大学教授・理学博士の甲氏、中国の文部省の乙氏、上海の一流大学で教育に従事する丙氏等々かなりの数に上る。

現在、外国人留学生の数は正に日に日に増

## 世界に満ちわたる親戚

加しているから、試みに五年後、十年後になつて、広島大学の国際化に対する貢献が巨大なものになるであろうことを考えてみるがよい。

広島大学の外国人留学生に対する配慮、即ち留学生の受け入れから、各教職員の留学生に対する教えて倦まない態度、授業料免除、各種奨学金による教育の提供、留学生の生活やその他諸々の方面に及ぶ心配りは、確かに留学生を感激してやまないようにさせている。これらの人はまだ卒業していないが、皆いつも日本で受けた感激を思い起こしては、卒業後本国でいかに母校広島大学に、また教職員に恩返しをしようかと考えている。と言うのは各自の成長と発展は、母親たる広島大学や各教職員のおかげで形成されたものであるからだ。今日の外国人留学生達が卒業後、それぞれ本国に赴いて仕事をする時になれば、彼らは既にもう異國の友人ではなく、日本の親戚のような者で、世界にあまねく存在することになるのである。

ニイ ハオ  
今日は！你好！